

# 行政報告

- ① 平成19年度一般会計決算の概算は、2億8,700万円余の黒字の見込み
- ② 阿賀町みどりの山里基金条例を制定
- ③ 「広い視野を持ちものごとを総合的に判断する力をも身につけた学生を育てる事業」を受け入れ

① 一般会計歳入総額14.7億7,806万円に対して、歳出総額14.4億6,489万円と繰越財源を差し引いた実質収支額は2億8,717万5,000円となりました。

また水道事業会計を除く特別会計では歳入総額で88億5,712万6,000円、歳出総額で87億8,127万円となり、実質収支額は7,581万1,000円となりました。

② この度、幼少の頃に当町に住んでおられ、現在新潟市在住の赤井昭さん(しょう)から町に3,000万円の寄付を頂きました。

③ 新潟大学が実施する「広い視野を持ちものごとを総合的に判断する力をも身につけた学生を育てる事業」を当町は受け入れることになりました。この事業は3カ年計画で学生、教職員の概ね50名程が班編成の下で「限界集落における医療、年金、産業など生活に関わる聞き取り調査」や「住民と協働した地域資源の発掘に向けた試み」等の活動を展開するといふもので町としても活性化のため積極的に協力したいとのこと。

## 請願及び意見書

◎ 国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書

〈主旨〉

森林吸収源対策を着実に推進するため、環境税等税制上の措置や森林所有者の経営意欲の創出措置の実施を。

◎ へき地級地見直しに関する意見書

〈主旨〉

へき地教育の振興と教育の機会均等を保障する方向での見直しを要望する。

◎ ミニマムアセス米の輸入停止を求める意見書

〈主旨〉

政府は今年度、飼料用に振り向ける計画といわれるミニマムアセス米の輸入をやめ、国際的な食糧事情の急変下適切な対応を求め

る。

◎ 30人以下学級の実現

・義務教育費国庫負担制度の国負担率2分の

1 復元をはじめとする教育予算の充実を求める意見書

― 以上すべて採択されました。

◎ 後期高齢者医療制度の中止

・撤回を求める意見書

〈主旨〉

高齢者や国民を苦しめる同制度は「一部見直し」ではなく、一旦中止・撤回をして、国民的合意下の医療制度をつくることを求める。

― 提案に反対意見があり、起立採決の決果、採択される。



耐震、改修工事待たれる三川小中学校

## 編集室より

▼先日、日報紙上に当町麒麟山いこいの森でのホタルの復活記事が載っていた。わが家の前でも夜毎ホタルの乱舞を見ることができている。「火垂る」が語源で、古くは「源氏物語」中に「声はせで、身をのみこがす 螢こそ 言ふよりまさる 思ひなるらめ」の歌が見られるが、ホタルの回帰は嬉しい現象である。

▼米国が北朝鮮のテロ指定解除を決定した。一九八七年の大韓航空機爆破事件を受けてのテロ指定なので約20年ぶりの指定解除となる。しかし拉致被害者家族の落胆は察して余りある。横田めぐみさんの拉致からすでに31年、何としても風化は避けねばなるまい帰国を見るまでは。(神田)

### 編集委員会

- 委員長 波田野 泰博
- 副委員長 神田 八郎
- 委員 伊藤 武一
- 委員 清田 輝子
- 委員 宮川 弘
- 委員 土屋 勝則

# あがまち

## 議会だより



ホタル舞う「たきがしら湿原」

(撮影者 山口冬人)

## 主な内容

一般会計 特別会計補正予算	2P
主な質疑と討論	3P
一般質問	4～14P
委員会報告 公社第三セクター財務諸表	15～16P
若者の意見・提言	17P
請願陳情 編集室より	18P

※再生紙を使用しています。

No.13  
2008.8

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112  
新潟県東蒲原郡阿賀町津川1580番地  
発行責任者：議長 遠藤信也



# 一般会計に1億2千万円余を追加 総額 145億3,055万9千円

## 平成20年度 6月定例会 6/23～6/26

### 主な質疑と討論

概要

#### 総務費

- ◎企画費

- △集落調査謝礼金 30万円

- △新潟大学との協働事業の必要経費

- ◎基金費

- △阿賀町みどりの山里基金 3,000万円

- △新潟市在住の赤井昭さん（津川出身）の寄付金が財源

#### 農林水産業費

- ◎農業振興費

- △農業用使用済みプラスチック処理事業補助金 4万8,000円

- △JA新潟みらいに回収を委託

- ◎林業振興費

- △ナメコ製缶設備更新補助金

- 95万9,000円

- 室谷地区のナメコ生産組合の補助金

#### 商工費

- ◎施設管理費

- △レークサイド角神改修工事 190万円

- 空調設備の改修

#### 教育費

- ◎保健体育総務費

- △阿賀の川レガッタ開催事業

- 397万8,000円

- 映像スクリーン設置費等（レンタル）



めざせ!!トキめき国体

#### 特別会計補正予算

(単位:千円)

	現行予算額	6月補正額	補正後予算額
国民健康保険	1,859,741	5,119	1,864,860
後期高齢者医療	196,373	4,941	201,314
介護保険(保険事業勘定)	1,923,672	4,991	1,928,663
阿賀町水道事業	956,722	660	957,382
下水道事業	1,158,199	5,727	1,163,926

## 白熱の討論

### 後期高齢者医療制度の中止・撤回の意見書を 国に提出する請願

反対討論 山口周一 議員

高齢化率が県下でトップクラスであり、5年10年先を見据えれば、医療費の高騰は避けられない。したがって見直しであれば問題は無いが、中止あるいは撤回ということですから反対いたします。

賛成討論 薄 厳弥 議員

政府は「国が財政赤字だ」「医療制度がパンクする」と高齢者を脅かしているが、「高齢者が国の借金をつくらなければならない」「後期高齢者」はあの戦禍をくぐり抜け、身を粉にして戦後の復興を支え、世界有数の経済大国をつくった功労者です。

反対討論 宮澤勝見 議員

この制度については国民から批判はあるが、何ごとも万全はむずかしい。欠点を補うといっているのに期待したい。即事中止、廃止は国民に多くの混乱を招くので反対する。

賛成討論 渡部英夫 議員

医療費抑制のみを重視した措置でなかったかと疑問を感じる。大正・昭和の激動の時代に生まれ、懸命に国を支えてこられたお年寄りが、安心して医療を受けられる世の中であってほしい。



どうなる医療制度





# 町政を質す コンプライアンス(法令順守)について

宮川 弘 懿 議員

## 町議会議員と区長兼任 は妥当性を欠く

【質問】

我が国の自治制度は、意思決定機関と執行機関と明確に区別した法制度を採用している。議会は、区長班長までも含めた行政システムのあり方や問題点をチェックする権利と義務がある。従って、その兼任は妥当性を欠くと思うが町長の所見はいかに。

## 疑義の余地なし

【町長】

区長は各区の住民から選出されて就任するものであり、町の行政執行に対しても、区の見解を代弁する職務から勘案しても妥当性の欠落もないと認識している。

## 議員と区長の 職責は全く異質

【再質問】

議員は、政治信念をもって全く自己責任において行動するが、区長の職務は、中立性公平性を求められ、両者は、

## 兼職の禁止規定に あたらない

【町長】

地方自治法第92条の禁止規定に想定されているものではないと認識している。

## 町会議員と町から恒常 的に業務委託や補助金 を受けている団体等の 役員の兼任の問題点

【質問】

いわゆる色目鏡で見られるのが当然の議員がこれらを兼任することによって、町民が職務の中立性に疑問を感じるばかりでなく、一般の議員がその団体等の問題を、真摯に議論しがたくなり、議会のチェック機能が発揮されなくなります。これらの団体には、町として行政指導できる



議会審議風景

## 兼職規定に抵触すれば 失職もありうる

【町長】

本事案は、議員の兼業の禁止に抵触する事項であると考える。地方自治法第92条の2では、議員は普通地方公共団体に請負をする者およびその支配人または主として同一の行為をする法人の無限責任社

## 議会と町が力をあわせて コンプライアンスの啓発を

【再質問】

住民の法意識は、法律をつくったり、制度を改定すれば変わるものではありません。法の精神を理解し、それに一歩でも近づいた行動の長年の積み重ねによってコンプライアンスは達成されると思います。かような次第で、議会だけの力で改革しにくい問題を町長の良識ある判断と議会が力を合せて、いち早く法の精神にのっとった慣習が築かれることを念願致します。



# 三川中学校の存続について

石田 守 家 議員

## 阿賀津川中と 早期統合を

【質問】

伝統ある旧津川中学校・鹿瀬中学校・上川中学校が本年4月統合し、新たな阿賀津川中学校がスタート致しました。生徒数の減少、地域における公共施設の存在、廃校後の地域環境など残された問題点は想像以上に大きく寂しいものと思います。

反面、今日では生徒のスクールバス通学、電話連絡など範囲の広さに驚いています。但し合併しひとつになった町が旧三川村だけ従来通りの単独運営で取り扱われているように見えます。

さて、三川中学校は小中連携校として開校4年目となります。学区や保護者の考えなど現状ではどうか、他の3つの中学校統合計画にぜひ統合参加の話がなかったのか。

本年度は耐震補強工事を予算化し、小・中連携校の将来構想は整ったように見えますけど、生徒数の減少、学校教育



4年目を迎える三川小中連携校

## 学校統合がなった ばかりなので、今 後の状況を見たい

【町長】

三川小・中学校は県下に先

駆け平成17年4月連携校として開設事由もあり、阿賀津川中の統合の際議論に乗りませんでした。また現段階でも学校統合がなったばかりでそういった声が醸成されてないと思います。理想としては一校になった方がよろしいのかなと思いますけど、現状としてはそのような中にあるとご理解いただきたい。

本町におきまして、小中連携校がひとつ、阿賀黎明における中高一貫校、そして発足した阿賀津川中学校、統合校というそれぞれの特色を持った中学校が3校あり互いに研さんし合う環境が整った稀有な町であると言えます。

しかし時代の趨勢に伴い三川小中連携校がご指摘のとおり生徒数の低減から統合という道を選ばざるを得ない時期が来るかもしれないことは、今断定的には申し上げることはできないかな、それぞれの長短の検証を重ねて参る所存であります。





# 自立支援法に基づいた補助は？ 一般ゴミの有料化について

山口周一 議員



ワンフロアサービスを目指している

町長 課が違っても十分対応できるはずですが、そういう話しであればその辺の体制を充実してゆきたい。

## 体制の充実を

町長 あがの作業所は保健年金課ひまわりの家は町民生活課、私でさえ戸惑います。町民はもつと迷うのではと思つてますが、すっきりした機構にして欲しい。

再質問

## 福祉の窓口を一つに

町長 制度改正による説明会を保護者会に実施し意見交換をしている。現段階では既存法人の傘下に入るのが最良という意見が大半を占めているとのこと。会に情報を提供し皆さんと共に利用者にとって最良の方法を検討したい。

## 最良の方法で

町長

## 障害者施設の支援は？

質問

あがの作業所、ひまわりの家は、自立支援法に基づいた運営になっておりません。来年度より福祉法人の傘下で、自立支援法に基づいた運営をしたいとのことでしたが、保健年金課、町民生活課でも具体的な話が聞けません。施設をどういう形態で運営するのか、町長の所見を伺います。



# 阿賀町の今後

高橋渡 議員

## 県立津川病院はどうなる

質問

この度東京の医療政策人材養成講座なる所から県立津川病院についてのアンケート依頼の文面が届き、私は強く存続を訴える意思を伝えました。今年の早い段階から勉強会と称して現行では継続されるかどうか問題であり、津川病院は廃止や他病院との合併または経営主体の変更などが議論されるであろうとのことでした。また県知事からも明快な答えがなく一町に一県立病院は好ましくない旨の発言もあり、四町立診療所と有機的に統合し、社会医療法人を設置すべきとあります。阿賀町では国県の出先機関が次から次へと閉鎖され、かわりに何かきたかという何もない。県立津川病院はなくしてはならないし、むしろ整備充実を図らなければならないと思います。また県の出先機関の充実も図りつつ公的機関の研究等々の誘致の働きかけをし1

つでも2つでも事業体を増やさなければ、就労場所は若くは世代の皆さんは困惑しているのが現状です。次に住みやすい町とは安定した職場があるって安心して生活をし、定年を迎えられることと思う。町としては厳しいものがあるならばベッドタウン化も止むなしであり、町外勤務者に通勤費の助成を。また既存企業の経営も厳しいものがあり税制面での優遇策はできないか伺います。

町長

町長 県立津川病院をなくするという話はしておりません。公立病院改革の将来といったようなものを念頭に置きながら、議員ご指摘のように、県立病院の重要性というものを十分認識しながら今後の対応に当たっていきたくと思つております。遠距離通勤支援はU・I・ターン



どうなる県立津川病院

## 県立津川病院の整備充実を

再質問

町長 県立津川病院はなくならないという意志が伝わりました。先般町村会で地域医療の充実について県知事に提言されたその感触はどうだったのか、

## 具体的な回答は得ていない

町長

町長 医療法人化構想は先生方の考え方で、私どもの方では考えていることではございません。次に県立病院の要望事項については町村会として恒例でございまして、具体的にどこをどうするといふ返答は得ていない。いろいろ今提案された事については取りくみをして活性化につなげて行きたいと思つております。町内の既存企業で事業拡大をする所もあり、固定資産税の免除について申請を受けた所でございますので、その辺またあわせて報告しておきます。

## 家庭用生ごみ処理機



購入費の50%  
¥30,000を  
限度で補助  
生ごみ処理機  
購入の助成金  
制度をご利用  
ください。

## 可燃ゴミの有料化は

質問

町長 新潟市など6月から可燃ゴミが有料化となりました。町の事業所ゴミも、6月から1.5倍ほど値上りしています。

## 年々少なくなる

町長

町長 生ゴミ処理機の補助ですが堆肥化できるので、区の組織たとえば農家組合等を通じ効率の良い広報をお願いしたい。

## 有料化はやむなし

町長

町長 課が違っても十分対応できるはずですが、そういう話しであればその辺の体制を充実してゆきたい。

## 生ゴミの減量化を

質問

町長 生ゴミ処理機の購入補助制度17年から実施していますが、17年は15台、18年は14台、19年は10台という実績になっています。

町長 今後、この制度の理解と周知を強力に進める必要があると思つています。





# 阿賀野川左岸山腹土砂崩壊と流出防止について

渡部英夫 議員

**質問** 先般の岩手・宮城内陸地震で不幸にもお亡くなりになりました方々並びに被災されました皆様方に、心よりお悔やみ申し上げますと共に一日も早く復興されますことをまづもってお祈り申し上げます。

さて、岩津橋下流、阿賀野川左岸山腹で大規模な土砂崩壊が発生し、崩壊土砂が阿賀野川まで流出しています。洪水時には大量の土砂が流出し五十島橋付近では流出した土砂で川原が白く変色しています。

これが右岸側に徐々に変わりつつあるということです。我々上流域に住むものの務めとして、国土保全の観点からも、土砂崩壊防止並びに土砂流出防止は極めて重要と考えます。土砂崩壊防止工事並びに土砂流出防止護岸工事の早期調査、着工に向け関係省庁に強く要請して頂きたい。

**町長** 毎年徐々に崩落していることは認識している。近年広範囲に崩落した事実について確認しているが、相当の年限を経過して、近年、大規模に崩落したことまでは確認しておりません。ご指摘の河川の生態系への影響については、県の環境対策課が馬下橋地点で河川水質検査を実施しており、水質汚濁に対する危険性は極めて低いものと考えています。

山腹崩壊箇所については河川情報モニターによる定期的な巡視、さらには河川管理者



早期に流出防止策を



業要望を強力にお願いしてまいります。



# 多重債務者対策 消費生活センターの設置を!!

薄 巖 弥 議員

**質問** 国の多重債務者対策本部は07年4月20日に「多重債務問題改善プログラム」を決定しました。

「地方自治体」の役割として「『多重債務者への対応は自治体自らの責任』との意識を持つて、自ら主体的に相談窓口における対応を行うことが望まれている」とし、「住民と接触の機会」の多い市町村の役割を期待している。

国はこの「プログラム」策定に当たり盛岡市のとり組みを参考にしました。

◆盛岡市のとり組み  
①借金の相談があれば、弁護士事務所などへ職員の間同行も含め一気に解決の道筋をつけてあげる。

借金問題の背景には低所得者による生活困難など隠れている問題もあり、借金の問題を解決しつつトータルサポートするため福祉担当などへ橋渡しをする。

多重債務で相談に来る大多数の人は「格差と貧困」「多重者」への対応は自治体自らの責務。「行政がやらずに誰がやる」意識で対応しています。

阿賀町としても、多重債務

者の実態調査とその問題解決をはかるため最低でも「窓口」を設け、専門の相談員を置くことを提案し町長の答弁を求めます。

**町長** 消費センターの設置について、盛岡市のとり組みはテレビでも報道され、そんな役場になる必要があるんだろうと私も感じております。

わが町におきましても、各種団体の協力により、定期的な相談業務を実施しています。が、多重債務者に関する相談は現在のところありません。しかし地域性を勘案しますと、本来多重債務について相談したくとも、なかなか公に相談できないという現状なのか、潜在的な債務者を考慮すると、必ずしも相談件数が皆無である事象のみをとらえて安閑としていられない状況ではないかと思っております。

そんなことから実態調査や相談窓口そのもののあり方を考察していく必要があるかと考えて、役場組織の改革をやったわけでありまして。

不要入れ歯「ボックス」の設置を

**質問** 「入れ歯には金・銀・パラジウム」が多く使われ、入れ歯一つで毛布なら8枚、予防接種の注射なら250人分をユニセフ（国際児童基金）を通して貧困に苦しむ世界の子ども達に援助することができ

回収された歯は換金され、収益金の45%はユニセフ、45%は回収した市町村社会福祉協議会、残り10%は「入れ歯リサイクルセンター協議会」の事務費となります。

必要がなくなつた入れ歯は機の引き出しに保管されていると思いますので町で「回収ボックス」を設置し、世界の



住民生活課窓口

本年、総合窓口を主務とした町民生活課を新設しておりますので、住民皆さんからの行政に対する要望や私的な相談事に至るまで網羅し、多重債務の問題につきましても、直接相談をためらうような該当者に対しましては、県の消費センターや弁護士または司法書士会に紹介できるような周知徹底をしてまいりたい。

**町長** 私も以前から認識をいたしておりました。

わが町で可能かどうかというところは考え次第ではありますが、歯科医院の実情等々も患者本人が不要とした場合、医療廃棄物として処理しているということですから、これが、有効活用出来るのであれば、ご協力いただきたいと思っております。

大変有意義なご提案を真摯に受け止めて、前向きに今後の関係機関と協議してまいります。

恵まれない子ども達を救ってほしいことを提案します。

**前向きに検討する**





# 上川地区に スマートインター新設を望む

石川 太一 議員

**質問** 合併後3年経過した中で、旧上川地区においては、各観光施設とも観光客の減少で、その対策に頭を痛めています。上川温泉、丸淵ワラビ園、中山ワラビ園、九島栗園等地域住民の生活の糧となる収入源の確保と生きる希望を与える施策が必要と感じます。

また、御神楽岳、たきがしら湿原、九才坂峠等の観光地入り込み客拡大のためにも道路網の整備はもとより、抜本的対策が必要と感じています。そのためには上川パーキングにスマートインターチェンジを設置するのが最良の方法と考えます。その理由として用地の問題がない。下方道路の取付けの問題がない。工事施工の際は経費が少なく済む。ETC設置により、地域経済波及効果が大きい。特に入り込み客が減少している旧上川地域の観光拠点の入り口になる。以上のような観点か

## 三川地区の 進捗状況は

ら、ぜひ導入に向けて関係各所庁と協議を願いたい。また建設経費の負担等で交渉が難航することも予想されますが本線ゲートから出口までは三川インターを建設したように町負担も考慮しながら建設をお願いしたいが町長の考えはどうか。また現在三川地区阿賀野川サービスエリアでスマートインターの計画があるがその進捗状況はどうか。答弁を求めます。



スマートインターで活性化を(上川パーキング付近)

## 建設には1日500台 の利用が必要

**町長** 上川パーキングにスマートインターチェンジを新設して地域の活性化を図る提案ですが、平成18年7月にスマートインターチェンジ、SAPA接続型制度実施要綱が制定されインターチェンジ間隔が10kmあるのを5kmに計画整備とありますが上川パーキングについては津川インターチェンジとの間隔が3.5キロでありま

す。また出入り交通量ベースで1日500台が見込めることが絶対条件であり、現段階では大変厳しい環境にあります。また阿賀野スマートインターチェンジについては平成19年3月から1年スパンで事業規模と採算性の観点から調査していますが、採算面では1日250台必要に対して180台で70台不足。施設維持管理費の運営費で年間3000万円試算され推計値で700万円不足となる。スマートインターチェンジを整備することで三川インターチェンジの交通量が減少し、維持管理料金収受業務が困難になる可能性があります。

今後は交通量をどのように確保するかが最重要課題となっているので、本町に2カ所あるインターチェンジが通過点にならないよう、PRおよび情報発信を充実したい。三川のスマートインターも厳しいが実現に向けて努力していきたい。上川スマートインターについても可能性を探りたい。



# 廃校の校舎 教員住宅の再利用

五十嵐 隆朗 議員

**質問** 減少する児童・生徒数に伴い増加する廃校、使い手が減少しているのですから当然、施設の在り方・利用の仕方でも変わってくるはずですし、施設整備も変わってくるはず。にもかかわらず、利用されない施設、逆に今後利用頻度が増すと思われる施設に対して何ら臨機応変の供給や対策が構じられないまま、これまでどおりの整備費用を費やしていることに大きな問題があると思います。例えば鹿瀬中などは比較的アクセスがよいので、図書館などに再利用できないか。各廃校の図書を一カ所に集め、教室ごとにジャンル別に整理し利用しやすく、勉強等はクーラーのついた教室を利用する。図書館は、子供たちの希望でもあります。写真、書画、短歌等々の愛好者のグループの発表・展示の場として、小規模なギャラリーを建設するにしても、財源を必要とし、財政負担になり

## 増加する廃校



どうする廃校の再利用(鹿瀬中学校)

次に、現在81戸の教員住宅があり、入居数が57戸、空き住宅が増加しております。償還もほとんど完了しており、売却も含めて教育委員会の内容ですが、町の財産として町長の考えをお伺いします。

**町長** 廃校となった校舎を含め、あらゆる公共施設の抜本的な見直しを、公共施設再評価委員会を設置して取り組みをし

## 「旧鹿瀬中は消防署」 転用も念頭にある

**再質問** 今回、配布された災害地図に廃校も避難場所に指定されています。必要とする災害避難物資の備蓄の場所としても考えているのか。

**町長** 備蓄基地は重要な問題ですが、避難場所として対応したわけですので、逐次見直しながら適切に対応を考えていく必要があると思っております。学校の目的外使用について大

## 廃校も 避難場に指定

変厳しい枠がありました。今回その枠も規制緩和され、使いやすくなってくるのを期待しています。利用増というものを積極的に取り組んで前進するよう努めます。

**町民からも  
アイデア募集を**

**再質問** 町民からも幅広くアイデアを募るのも一つの手ですので教育委員会等、よく相談して良い方法を考えていただきたいと思います。

**町長** 町民の皆さんもアイデアをお持ちだろうと思っております。よりよい手だてを考え対応してまいります。

## 備蓄基地は 重要な問題



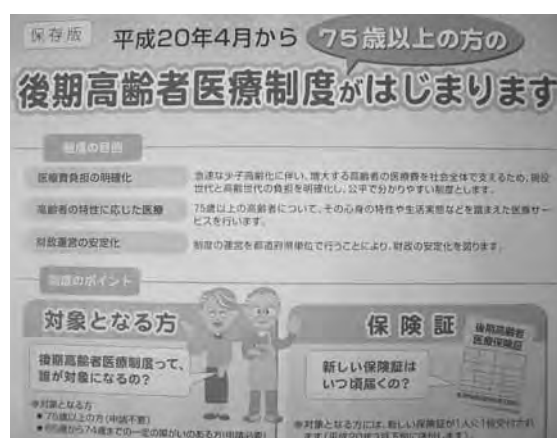
公共施設の利用に一考を...



# 「後期高齢者医療制度」に責任ある説明を

清田輝子 議員

**質問** 今年の4月から後期高齢者医療制度で年金から保険料の天引きが今回で2回目となりました。この制度には、各県、各地域からの批判と怒りが噴出しています。この制度は、平成18年に、小泉政権下で国民の医療費の負担に関して、若い人への負担増の軽減、財源破綻の危機の観点から、75才以上の高齢者の方にも一部財源負担をしようというところで解決を図ろうと提案されたものです。今年になって、平成18年に発表されて負担が現実になったところで、国民からの反発が起り、庶民感覚からみれば「税金を取られる」という理性以外の要素が絡み反発が大きくなり今、收拾がつかない状態になっているのが現状で、我が町も例外ではありません。高齢者の命の綱である年金の天引きの必要性と根拠を行政側は責任ある説明をしていただきたい。



混迷を深める後期高齢者医療制度

各市区の区長会議におきましてもさまざまな疑義があり、詳細な説明を求められ、その都度説明をしてきております。今後とも足らざる点については、理解を得られるよう努めたいと思っております。今計画を組んでおりわか

**質問** 今回の4月における保険料の計算の中では19年度の所得がまだ決っておりませんので、18年度分の所得を用いまして仮算定を行った上で年額を出しています。年間の年金収入額がありそこから計算するために、最初に公的年金等控除額を引いて年金所得を出し、所得から基礎控除額33万を控除し、新潟県の連合会で決めた税率7.15%を掛けて算出しており、それが年金の年額という仕組みになっております。

**町長** 後期高齢者医療制度の必要性および根拠ですが、若年層が高齢者を支援していく、今までも老人保険制度の中でやってきたわけですが、今回年齢を75才で区切ったことが大きな反発を招いているのです。こうした制度は、これからの高齢化の中で、この根幹を崩すというわけにはいきません。もう10年も前からこういう構想が出ている中で、18年度に成立をし、国会議員ですらそ

の内容を知らないでいたという訳です。75才という年齢で区切ったということで、メディアが取り上げあおり、その代替案というものも示されないう中で年齢制限でいったものは、どのような形であればいいのかに対して国は1つも答えていないわけでは、老人保険制度でも我が町としては2億円も拠出して、これは2年間の精査を実施して本年度からスタートしたものであり、医療給付に要する経費、50%を公費負担、40%を現役世代の保険料、10%を後期高齢者保険に充てる内容であります。

**質問** この年金からの保険料の天引きはどのように計算されるのかわからないという方が大勢おります。算定の計算方法を伺いたい。

**質問** 天引きの試算方法は

# どうする阿賀の里経営は

斉藤秀雄 議員

**テーマを 持っているのか**

**質問** 経営改革にどのような決意で代表取締役が就任されたのか伺います。株阿賀の里と大新東株との業務委託契約についてはどのようにされたのか。

**町長** 早急な経営改善を図るべく



早急な経営改善を

**町民への 情報開示を**

**再質問** 社員は皆無の会社で役員とは誰なのか、組織改編で三川支所が対応されているように思いますがしっかりとしたシステムを構築すべきではないのか。

返済計画は町融資を優先に実行力のある体制を組織して下さい。町民への情報

**町長** 町代表として三川支所長が代行してチェックして成果については情報開示し対応していきます。

前期は職員を増強して売上の増加を模索したための増加と考えます。今回の業務委託契約の中では人件費を掛けないで増益を図るための計画を立てて参ります。負債の圧縮に向けて取り組みを強化して参ります。改善点の洗い出しは情報開示し私も心して取り組んで参ります。

**町長** 実態を周知し情報開示して町民の皆さんと知恵を出し合う機会をつくることにしていきます。

そして、他の三セクも改善計画を示しながら協議していく考えであります。貴重な意見を無視することなく、改善計画を提案していきます。

大新東株と株阿賀の里として確認役の町の3者で施設管理業務委託を締結した。マスコミ報道等と相まって信用信頼が失墜したことから安定的な経営が可能になるよう、町と地域が一体となった経営改善に取り組む趣旨から代表取締役が就任した。社員は皆無になったので役員のみが関与する実態から大新東株の業務内容の監督、およびチェック&バランスを図る内容であります。

**町長** 町代表として三川支所長が代行してチェックして成果については情報開示し対応していきます。

前期は職員を増強して売上の増加を模索したための増加と考えます。今回の業務委託契約の中では人件費を掛けないで増益を図るための計画を立てて参ります。負債の圧縮に向けて取り組みを強化して参ります。改善点の洗い出しは情報開示し私も心して取り組んで参ります。

**町民の声を聞く**

**質問** 町民の知恵を結集する機会を開催を求めます。

議員、役場職員ではなく地域の人々の知恵を結集しなければ経営改善はできないと思っております。

最後に、前経営者は我々の意見を聞かずして今日になっていることについての見解を伺います。

**開催に向け 協議する**





議員 一 誠 侯 猪

# 希望のもてる ビジョンの構築を!!

**〔質問〕**  
町は合併して4年目に入り合併特例も3分の1を過ぎているのに、住民に町の進む先が見えていない。町は総合計画により将来を見据えた施策を組んでいるが、日々変動する現状の事務事業への取り組み、消化に追われているように映る。  
今年度より観光行政が企画の担当となり、自由な発想の中で全体的な企画を構築し、事業が大きく進展していける条件がそろったものと評価している。今後、企画課は、すべての分野を横断的に掌握し新規産業の創設をも視野に入れた町全体の、希望の持てる将来ビジョンの構築を図るべきである。

## 前期を検証し 後期計画を策定

**〔町長〕**  
国体を機に県にない誘客を図ってゆく。単にPRにとどまることがなく、俯瞰的な視点から、地域資源の活用とあわせ、新たな産業の創出が、

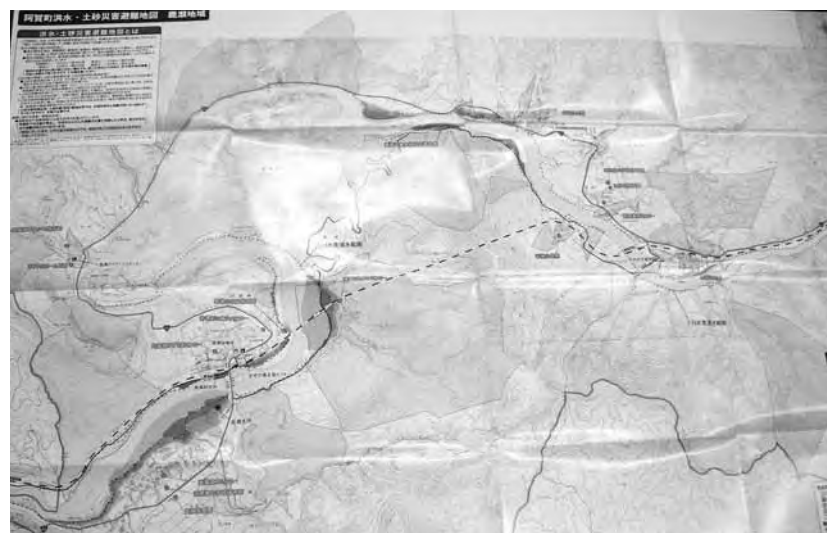
観光分野においても大きくかわり、町民の労働意欲に資するものと考えている。  
施策については、総合計画により実施しているが、次年度で前期5カ年が終了し、後期計画の策定に向けた期間に入る。これまでの施策を検証した上で、町の資源を、新しい産業の創出と関連づけて、策定してゆきたい。

## ハザードマップ わかりやすく検証を

**〔質問〕**  
ハザードマップが作成され全戸に配布された。住民の安全管理や意識の高揚等、防災意識の啓発に役立つものと考えているが、扱いにくい、見にくい等々、地域の高齢化や住宅実情を考慮して作成されていないとの声を聞く。見やすく管理しやすくなるのか、また避難施設が浸水区域や土砂災害特別警戒区域にあたり、耐震強度に疑問のある所であったり警戒区域を通らなければ行けない所であったりと作成に当たり、防災計画に沿った検証が行わ

## 検証加え 細部にふみこむ

**〔町長〕**  
ハザードマップは、全地域の区長アンケート調査をもとに各地区の実態を把握し、関係機関のアドバイスを得、多角的に検証した内容となっている。完全とは言いがたい部分もあるが、居住地域にどのような危険性があるか、避難場所はどこかの確認等の災害に対する備えの喚起や近隣住民とのきずな強化の一助となり、作成の意義はあったと思う。これにより事業が完結したわけではない。今後、さらに検証を加え、自主防災組織の育成も含め、情報伝達施設活用、避難経路等、細部に踏み込んでいかなければならない。  
町民の生命と財産を守ることが行政業務の第一義である。



ハザードマップ

# 委員会報告

## 総務文教

委員長 五十嵐 隆 朗

調査実施日

平成20年5月27日(火)

調査事項と概要

### 「麒麟橋下流地域整備事業の現況調査について」

平成19年度整備実施箇所20年度県町実施計画、東北電力借地について今回新規(見直し)契約を含め東北電力の要求額m30円に対し、県の河川占用料を基本に交渉した結果、m3円を締結。県道からの取り付け道路など一部が地権者の関係で工事が遅れている。現在の進捗率は30%である。

### 「阿賀町ふるさと学習館」

旧三小小校舎を利用して、適応指導教室とふるさと学習館を開催している。いじめ、不登校の予防、早期対応ができる施設、児童生徒、保護者、地域、学校が安心して子育てができる社会を目指していた。また、地域住民の自主的活動の場と機会を提供し、定期的に展覧会を開催し、地域の文化発信の拠点としている。



間に合うか麒麟橋下流地域整備

「阿賀町教育文化センター」旧谷花小校舎を利用して、公民館三川分館としての、高齢者対象事業など、さまざまな事業を計画し、実績をあげている。

麒麟橋下流地域整備事業については、国体に間に合うよう望みます。ふるさと学習館については、いじめ不登校対策は教育委員会と連絡を密にしており効果が現れていました。今後とも指導、援助をお願いし、「いじめ根絶」を目指していただきたい。「教育文化センター」については、多数ある事業を活用し、活気あふれる地域づくりを望みます。なお廃校の校歴資料が破損紛失等の管理上の観点から阿賀町の一カ所に保管、展示するよう教育委員会に申し入れをしました。

# 産業建設

委員長 高 橋 渡

閉会中の所管事務調査を、左記により実施しました。

調査日 平成20年4月21日(月)

調査事項

- (1)後地住宅建築工事の現状調査について。
- (2)町道倉ノ平線改良工事外3件の現状調査について。
- (3)町道鹿瀬、当麻線改良工事並びに深戸基盤整備事業について。
- (4)国道459号当麻トンネルの進捗状況と今後の計画について。

概要

- ①倉ノ平線改良工事外3件のうち清川原道下線改良工事の用地調整が難航している。慎重なる対応にて早期着工を求める。
- ②後地住宅建築工事の平成19年度建築工事請負については、他町同志の共同企業体であったので、今後は一方が町内とのJVである事を望む。
- ③町道鹿瀬、当麻線改良工事は深戸地内延長700mであり、第1工区から第4工区の計画のうち本年度は第3工区を着手する。更に平瀬区までの間で側溝に蓋を掛けないと危険な個



待たれる改良工事 (冬路峠)

所があるのを、対応を求める。  
④国道459号当麻トンネルは平成21年度完成を目指し、トンネル掘削残はわずか22mであり、早期の竣工で地域の願望がかなえられる事を望む。

⑤深戸基盤整備事業は水田4ha、畑2ha、農地保全区域0.8haで農地保全区域にはワラビを植栽し、農地の利活用を図っている。

まとめ

阿賀町の道路建設並びに改良工事事業については道整備交付金事業等の道路特定財源に依存するところが大きく早急に復活をして町の生活道路建設に支障をきたさないよう更に国に働きかけをしていただきたい。



# 行政研修報告

(平成20年6月4日(水)～6日(金))

## 社会厚生常任委員会

委員長 山口 周一

○研修地 山口県萩市  
○研修先 エコプラザ(萩)

### 視察の概要

平成17年3月に、1市2町4村が合併、ゴミのリサイクルとリユース(再使用)を促進するための施設。プラスチック、紙容器を分別、圧縮梱包する工場と、自転車、家具を再生、販売する展示場、ダンボール等を一時保管する、ストックヤードから成っている。

2階には、市民がリサイクル意識を高めるための教室もある。工場で消費する電力の一部を、太陽光発電でまかなっている、エコな工場であった。

### まとめ

数年前から、市民がゴミのない街日本一をめざし美化運動していると

行政もそれに対応するための施設であると感ぜられた。



リサイクルされる自転車

## 総務文教常任委員会

委員長 五十嵐 隆 朗

○研修地 広島県安芸太田町  
○研修先 安芸太田戸河内診療所

### 視察の概要

平成16年10月に、2町1村が合併、合併前2町にそれぞれ、国民健康保険病院が設立されていた。合併協議では、10年をかけた、2病院を新病院と、新診療所に再編することに決まっていたが、医師、看護師不足のため、一つの病院を今年4月から、無床の診療所に交換した。

今後、病院経営の地域医療の難しさを抱え公設民営化も視野に入れ、検討してゆくとのこと。

### まとめ

町も県立病院、診療所等のあり方が問いただされている。

### 今後、地方

独立行政法人、社会医療法人、広域連合、民間移譲などを含め、検討、議論する必要がある。



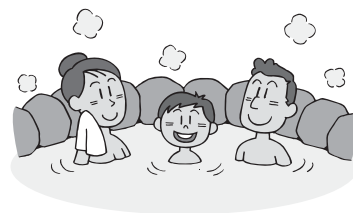
研修地戸河内診療所

## 第三セクター！公社決算提出される!!

6月今定例会において平成19年度の第三セクター・公社の財務諸表の提出についての報告がありました。

全体的に赤字決算となっている原因としては、震災などによる観光客の減少や燃料価格の高騰が主な要因であるとのこと。

決算内容の審議については、後日予定される全員協議会にて、おこなうことになりました。



セクター・公社	当期損失・利益額	平成19年度分
奥阿賀観光株式会社		△ 14,184,130円
株式会社 上川温泉		△ 12,161,974円
株式会社 阿賀の里		△ 51,282,770円
有限会社 キャニオンパーク新谷		△ 741,501円
有限会社 ホテルみかわ		△ 3,357,622円
上川農業振興公社		735,456円
三川農業振興公社		△ 6,491,097円



太田地区 加藤 号

## 九死に一生私の体験から

私は、阿賀町の医療と、医療機関に大きな期待をかけております。

私は、去る2月1日に上川中学校体育館での運動中に突然倒れ、心肺停止状態になり、家族の問いかけに応じたのは3日後と聞く。自分ではつきり目覚めたのは、4日後と聞く。たまたまその場に友人の消防士の方がおり、バスケットボール練習仲間との連携で適切な判断での処置を受け、かけつけた救急隊の心肺停止回復機(AED)のおかげで九死に一生を得たと聞きました。

この事実を知る時、いかに素早い対応と処置が人命を左右するか知らされました。

県立病院での適切な治療を受け、大学病院に移り病魔との戦いから後遺症もなく、元気な姿で退院できたのは、救急救命師を始めとした県立津川病院の救急医療体制そのものと思えます。

自分の町に総合病院があるただそれだけで、命への安心に繋がります。県立病院の充実した体制と公共施設等大勢の方々が常に集まる所には



AED講習会

AEDの設置を強く要望します。町では病气予防活動の充実を図りいきいき講座「高齢者支援ハウス」筋力トレーニングマシンが常設されたと聞きます。町民がどれだけ有効活用しているのか疑問が残ります。町には体育指導員の方々もいらっしやるので、ご意見を聞きながら、いきいき講座を組入れた計画的な健康づくりで皆さんが健康で笑いの絶えない、いきいきした楽しい町、阿賀町を皆さんで協力して築きあげていくことを願っております。

## 若者の意見・提言

### 私の思うこと

私は、この町に生まれ育ちこの町で家族と暮らしています。私が子供だった頃にくらべ、道路も良くなり町営住宅というかたちで、住む場所も増え、過疎化が進むなか、以前にくらべ、若い人達が、増え、近くの広場で遊ぶ子供達が、見つけられます。そこで一つ思うのは、そんな子供達のために、空いている土地の活用という意味で、向鹿瀬地区にも、遊具のそろった広場、キヤッチボールや、自転車乗りが出きるような。そうすれば子供達を通して、親同士の交流もでき、情報交換の場にもなるのではないのでしょうか。

もう一つは、空き家が多いので、活用できればと思います。そのためには、町がわで空き家を把握し、情報を提供してもらい、借りたい人、貸したい人の間に町が入り、交渉がスムーズにいくように、



向鹿瀬地区 久下 知也子

できればと思います。そうすれば、過疎化の防止、人口の増加に、そして町の活性化につながっていくのではないのでしょうか。この2つの事が、今、私がこの町に住んでいて、思う事です。



遊具のそろった広場がほしい